令和８年第２回黒部市議会３月定例会
提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人）通告要旨
■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民クラブ 中村裕一	**１　令和8年度 施政方針並びに予算編成について**	
		(1)　政府が「責任ある積極財政」を掲げている現状において、本市が持続的な発展を遂げていくための具体的財政運営と不測の事態への備えについて問う。	総務管理部長
		(2)　小学校給食完全無償化の決断の背景と、人口減少対策や若者定住促進にもたらす期待及び安定的財源の確保について問う。	教育長
		(3)　黒部宇奈月キャニオンルート始動に伴う市内全域への経済波及効果の戦略と投資を通じた市内企業への課題に対する具体的展望について問う。	産業振興部長
		(4)　クマ対策のパッケージ化における連携スキームの構築と、テクノロジーを活用した監視・通報体制の強化方針について問う。	産業振興部長
		(5)　令和8年度に迎える市制施行20周年記念事業の概要と、次年度から策定を進める「第3次総合振興計画」において、人口減少やインフレ経済といった激しい環境変化をどう捉え、次の10年、20年に向けた「黒部の未来」の羅針盤をどう示していくのか伺う。	総務管理部長
		２　駅周辺再整備及び公共交通について	
		(1)　本市の交通の拠点である「あいの風黒部駅」再整備についての本市の将来像と現時点での具体的な構想について問う。	都市創造部長
		(2)　北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅周辺の管理運営について、観光客の回遊性向上策とマナー改善や景観維持のための実効性のある対策について問う。	都市創造部長
		(3)　キャニオンルート始動に向けた「両駅を中心とした2次交通」の最適化について、移動を確実に支えるための戦略的連動及び移動のストレス解消に向けた利便性向上策について問う。	都市創造部長
		(4)　あいの風黒部駅、生地駅、黒部宇奈月温泉駅の駐車場のあり方について、利用者サービスの充実に向けた投資及び利便性向上のための整備方針について問う。	都市創造部長
		(5)　あいの風黒部駅と黒部宇奈月温泉駅という2つの核を軸とした「南北の交通軸」の再構築及び利便性を最大限に活かした、持続可能なまちづくりに向けた展望について問う。	都市創造部長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民クラブ 中村裕一	**３　武隈市政１期目における総括について**	
		(1)　令和8年3月５日、６日に報道された管理職員アンケート結果に対する市長のコメントで大声での叱責を「指導の範囲内」とあるが、そう言い切れるのか伺う。また、過去の反省が今回の言動にどう反映されていたのか、その具体的な根拠を明確に示していただきたい。	市　長
		(2)　同じく新聞報道にあった、一部幹部職員の発言で、「常に市長に怒られないよう、銃の引き金に指がかかった状態で対応しなければならない」という、極めて異常な緊迫な状況下であったことを市長自身が認識していたのか伺う。また、そのような状況下で職員が創造性を持って健全に働くことが可能だと考えているのか伺う。	市　長
		(3)　これまでの是正の機会を逃し続け、市政を混乱に陥れた政治的責任をどのように考えているのか。また、この混乱をいかにして収拾する覚悟があるのか、納得する回答を求めたい。	市　長
		(4)　新聞報道にあったアンケート結果では、76％もの管理職員が「決裁が必要な書類が返ってこない」などと回答している。この滞留を解消し、職員の精神的・肉体的負担を軽減するため、権限委譲の拡大や電子決裁によるプロセスの可視化などの「仕組み」を早急に構築すべきと考えるが見解を伺う。	総務管理部長
		(5)　声を上げた職員が不当な扱いや更なる精神的苦痛を受けることがないよう、どのようにして具体的保護措置を講じるのか伺う。	総務管理部長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民同志会 高野早苗	**1　富山地方鉄道線の存続と交通基盤の再構築について**	
		(1)　富山地方鉄道線の存続に向けた市の財政負担の想定について伺う。	市長
		(2)　魚津駅での乗り換え改善、あいの風とやま鉄道から宇奈月温泉駅への乗り入れの実現可能性について伺う。	市長
		(3)　沿線利用促進策の具体化について伺う。	市長
		2　人口減少対策と経済活性化について	
		(1)　黒部の応援団コミュニティ形成の目標、担う役割について伺う。	市長
		(2)　移住、関係人口創出（外部人材活用、複業人材活用、実践型インターンシップ）の取り組みと成果について伺う。	市長
		(3)　新規出店・創業支援の成果の評価、エリア要件緩和の効果検証、今後の施策について伺う。	市長
		(4)　黒部市経済連絡会議の成果と今後の課題、また市内経済の活性化において最優先に解決すべきテーマについて伺う。	市長
		(5)　職員のリフレッシュ休暇の導入について伺う。	市長
		3　子育て・高齢者支援の強化について	
		(1)　全天候型屋内施設の検討について伺う。	市長
		(2)　保育所の主食提供について伺う。	市長
		(3)　放課後児童クラブについて　アンケート結果を踏まえ今後、改善に向けてどう取り組んでいくのか伺う。	市長
		(4)　高齢者支援施策を今後どう取り組んでいくのか伺う。	市長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民同志会 高野早苗	**４　防災力強化と能登半島地震対応の検証について** (1)　スマートロック、緊急初動班、分散備蓄、移動式空調の整備等はいつまでの完了を目指すのか、また優先順位と財源の確保について伺う。	市　長
		５　市民病院の経営強化について (1)　医師の働きやすい環境整備について伺う。 (2)　診療体制の維持について伺う。 (3)　地域医療連携の拡充について伺う。	市　長 市　長 市　長
		６　本市漁業の今後の取り組みについて (1)　担い手確保対策について今後どのように進めていくのか伺う。	市　長
		７　農業の発展に向けた取り組みについて (1)　本市農業の課題を踏まえた上で、持続可能な地域農業をしていくためにどのような取り組みに注力していくのか伺う。	市　長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民志創会 柴　沢　太　郎	**1　武隈市長４年間の実績と評価について**	
		(1)　1期4年の総括と自己評価について、就任からの歩みを振り返り、掲げたビジョンの到達点と認識を問う。	市　長
		(2)　職員の先進地視察の現在の状況や、今後の方針について問う。	市　長
		(3)　能登半島地震への対応と防災について、スマートロック導入等の震災対応を総括し、今後の展望を問う。	市　長
		(4)　経済連絡会議の目的と具体的成果を再確認し、各団体との対話が政策形成に与えた波及効果を問う。	市　長
		(5)　地元企業の活力向上への取り組みに関し、外部人材活用やインターンシップが市内企業に与えた変化を問う。	市　長
		(6)　公共交通網の維持と地鉄との連携について、鉄道の維持と新技術を組み合わせた交通体系の構想を問う。	市　長
		(7)　広域観光の推進とブランド強化に関し、キャニオンルート開通を見据えた近隣自治体等との連携を問う。	市　長
		(8)　「スマート・シュリンク」の進捗について、人口減少を見据えた都市経営への移行状況と決断の有無を問う。	市　長
		(9)　公共施設跡地利用と市民対話に関し、未来会議で出された市民の声を実際の事業にどう反映したか問う。	市　長
		(10)　子育て支援と教育施策の評価について、支援策の成果やふるさとキャリア教育が次世代に及ぼした影響を問う。	市　長
		(11)　4年間で「やり残した課題」の抽出に関し、任期中に道半ばとなった事項や次期へ引き継ぐ最優先事項を問う。	市　長
		(12)　次期への展望について、1期目で築いた土台をどのように発展させ、どのような未来の黒部を描くのか問う。	市　長

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	橋　詰　真知子 (一問一答方式)	**1　移動式エアコン配備の妥当性と学校体育館の空調整備方針について**	
		(1) 2025年9月議会では「9月、10月のまだ気温が高い時期についてしっかり検証した上で考える」との答弁であった。 実際に中学校でどのように検証を行ったのか。 室温の変化、WBGT値の変化、外気温、設置台数、設置位置を含め、具体的データを問う。	教育部長
		(2) 2025年9月議会では「空間全体を冷やすことは難しい」「スポット的」との答弁であった。この評価に変更はないか。	教育部長
		(3) 2025年9月議会では「中学校で効果を検証した上で、小学校導入を考える」との答弁であった。検証の結果、移動式エアコンで十分な効果があると判断したということか。	教育部長
		(4) 2025年9月議会では「WBGT指数により体育館使用を中止した学校が過去3年間で4校あり、いずれも小学校」との答弁であった。このように体育館の使用を中止せざるをえない環境が、移動式エアコンで解消されると考えているのか。	教育部長
		(5) 学校体育館における空調設備の設置について、市はこれまで「国の補助制度の動向を見ながら検討する」と答弁してきた。文部科学省は2035年度までに設置率95％を目指し、支援を拡充している。 前回検討以降、補助制度を活用した固定式空調設備の設置について、改めて検討したのか。また、その結果として本市はどのような判断をしたのか。	教育部長
		(6) 令和7年度3月補正予算で計上された地域防災緊急整備費について伺う。小学校9校への配備台数26台の内訳と、1セットあたりの積算根拠を問う。	防災危機管理統括監
		(7) 今回導入予定の移動式エアコンは中学校に導入したものと同じか。	防災危機管理統括監
		(8) 災害時における避難所として使用する場合、機材の搬入、設置、排水処理を含め、設営に要する時間はどの程度と想定しているのか。	防災危機管理統括監
		(9) 窓を開けて設置する方式では外気流入による効率低下が懸念される。窓を閉めて使用できる固定式と比較し効率面をどう評価しているか。	防災危機管理統括監
		(10) 災害時における避難所として使用する場合、夜間を含め長時間の稼働が想定されるが、現在導入予定の蓄電池で何時間稼働できるのか、具体的な時間を問う。	防災危機管理統括監
		(11) 避難所生活は数日間に及ぶ可能性がある。その期間を踏まえての移動式エアコンという判断なのか。	防災危機管理統括監

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	橋　詰　真知子 (一問一答方式)	1　**移動式エアコン配備の妥当性と学校体育館の空調整備方針について**	
		(12)　他の自治体では、災害時の避難所機能を確保するため、ガス式の固定空調を採用する例がある。 本市では、具体的な比較検討を行ったのか。	防災危機管理統括監
		(13)　導入予定の移動式エアコンおよび蓄電池について、耐用年数、更新周期、更新費用をどのように見込んでいるか。 また、それらを含めたライフサイクルコストの試算は行っているか。	防災危機管理統括監
		(14)　蓄電池は未使用でも自己放電や劣化が進む。いざという時に使えない事態を防ぐために定期的な充放電や点検が必要となるのではないか。誰が、どの頻度で、どのように管理する体制を考えているのか。	防災危機管理統括監
		(15)　移動式エアコンと固定式空調との比較検討はどのように行われたのか、その検討内容について伺う。	防災危機管理統括監
		(16)　移動式エアコン配備をもって体育館空調整備の恒久対策と位置付けるのか、暫定措置と位置付けるのか、市の方針を伺う。	市　　長
		(17)　空間全体を安定的に管理できる固定式空調の整備について、市の方向性を伺う。	市　　長
		2　**市政運営の基盤となる市役所組織の在り方について**	
		(1)　令和8年3月5日付の各新聞報道、ならびに複数のメディアにおいて報じられた、市役所管理職を対象としたアンケート結果について伺う。管理職を対象に実施されたアンケートに、本市管理職63人中49人が回答（回答率78%）、そのうち55%が「パワハラを受けた」、59%が「部下や同僚がパワハラを受ける場面に居合わせた」と回答している。 この結果を、市政運営のトップとしてどのように受け止めているか。 また、「改善に取り組んでいる」と述べられたようだが、何を、どのように取り組んでいるのか。	市　　長
		(2)　当該アンケートを実施するに至った経緯と問題認識について問う。	総務管理部長
		(3)　当該アンケート結果を公表しなかった理由について問う。	総務管理部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	**橋　詰　真知子** **(一問一答方式)**	**２　市政運営の基盤となる市役所組織の在り方について** (4)　現行のハラスメント防止体制においては、職員を対象とした組織は設置されているものの、市長、副市長、教育長といった特別職はその対象外となっている。公平性及び客観性を担保する観点から、弁護士等の外部有識者を主体とする独立した第三者機関を設置し、特別職を含む体制へと見直すべきと考えるが、市の見解を問う。	総務管理部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	成川正幸 (一問一答方式)	1 **若者が「主役」になる未来図と、黒部独自の「定着・還流」戦略**	
		(1) 若者の主体的活動が芽吹く現状を踏まえ、市長の1期4年間の「種まき」の実績と手応えについて、その評価を伺う。	市長
		(2) 本市で出生数が増加へと転じている現状について、子育て支援策の成果も含めた出生数の推移と増加傾向の認識を伺う。	市民福祉部長
		(3) 20代女性の転出が戻らない現状の背景に、役割やワクワク感の欠如といった心理的要因による影響がないか分析を伺う。	市長
		(4) 自然と娯楽の満足度差を埋めるため、地域幸福度指標のギャップ解消に向けた若者自身が場を作る仕組みへの見解を伺う。	総務管理部長
		(5) 行政が「参加させる」段階から若者の「やりたい」を「任せ・支える」体制へ、若者支援のフェーズを引き上げるビジョンを伺う。	総務管理部長
		(6) 協働事業に「若者チャレンジ枠(U-30枠)」の新設を。参加の壁を取り払う新枠創設への所見を伺う。	市長
		(7) 地域を持続させる「中の若者」に対し、その実績を公に認める「市長名の活動証明書」を発行するなど、彼らのキャリア形成に直結する仕組みを構築する意向について伺います。	総務管理部長
		(8) 奨学金を(仮称)「黒部サケ奨学金」へ刷新を。大幅免除と特産品の「心の仕送り」で市との絆を深める意向を問う。	市長
		(9) 県との折半スキーム、およびクラウドファンディングを活用した「行政・県・金融機関・市民が一体となった血の通った若者支援」の構築について伺う。	市長
		2 **数字の競争から価値の創造へ ～上質な暮らしを支える融合戦略～**	
		(1) 産後ケアの成功を例に、現金給付合戦に陥らない「ブランド力」重視の戦略をさらに磨き上げる市長の基本姿勢を伺う。	市長
		(2) 全国的にも稀な、ウェルビーイング指標の全体的な上昇について、どう分析され、何が大きな要因だと捉えているか、見解を伺う。	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	成川正幸 (一問一答方式)	2　数字の競争から価値の創造へ ～上質な暮らしを支える融合戦略～	
		(3)　「温泉×医療」の成功を全世代へ。市民病院を予防医学の司令塔とし、温泉リハビリ等とポイント制度を問う。	市民福祉部長
		(4)　交通優待・温泉を繋ぐ「ウェルビーイング・パス」を構築し、癒やしの街とする市長の見解を伺う。	市　長
		(5)　子育て世代へ「鉄壁の安心」を。防災のまちづくりを価値創造戦略の柱に据える、市長の熱い思いを伺う。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	古川和幸 (一問一答方式)	**1　富山地方鉄道本線の存続と今後の対応（黒部市）について**	
		(1)　現在、あり方調査が進められ、来年度は、県が新たに組織を立ち上げ、再構築に関する議論を進めていくと聞いておりますが、「社会便益」の視点についての考え方を当局に伺います。	都市創造部長
		(2)　現在の沿線地区が実施する鉄道利用による活性化事業への支援について、当局の考えを伺います。	都市創造部長
		(3)　桜井高校への「鉄道学科コース」設置と高校存続について、教育長の所見を伺います。	教育長
		2　地方創生事業（実践型インターシップ事業/複業人材活用促進事業）について	
		(1)　実践型インターシップ開催事業のこれまで（令和4～7年度（途中））の、実績・成果（当局の考え）について当局にお聞きいたします。	総務管理部長
		(2)　複業人材活用事業のこれまで（令和5～7年度（途中））の、実績・成果（企業事例・市役所業務含め）について当局にお聞きいたします。	総務管理部長
		(3)　令和5～7年度の毎年度の複業人材活用事業について、委託料と委託先を教えてください。	総務管理部長
		3　まちなか巡回バスについて	
		(1)　公共バスの土日運行について、どう考えているのか、当局の考えをお聞きします。	都市創造部長
		(2)　EMU支援事業について、現状と今後の支援について、当局の考えをお聞きします。	産業振興部長
		(3)　R7.4月～11月の期間とR7.12月～R8.2月までの期間のそれぞれについて、電動ミニバスの運行日数・利用者数・1日平均利用者数をお聞きします。又、R7.4月～R8.2月までの利用者1人当たりの行政負担額について当局にお聞きします。	都市創造部長
		(4)　年度途中ですが、電動ミニバスの令和7年度の成果について、又令和8年度の事業内容について当局にお聞きします。	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	古川和幸 (一問一答方式)	４　その他諸課題について (1)　黒部市防災士連絡協議会の設立について当局に伺います。 (2)　農村文化伝承館「山本家」について、有識者の視察調査結果を踏まえ、当局の考えを伺います。 (3)　農村文化伝承館「山本家」を、今後どのように考えているのか当局に伺います。	防災危機管理統括監 総務管理部長 産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	大辻菊美 (一括方式)	1　学校作業療法士の活用と誰もが学びやすい環境づくりについて	
		(1)　本市における特別な支援を要する児童生徒数、不登校児童生徒数の推移、過去数年の状況を踏まえた分析をお示しいただきたい。 あわせて ①不登校の要因をどのように分類・整理しているのか。 ②発達特性や感覚過敏、学習上の困難との関連をどのように把握しているのか。 ③早期段階での支援体制は十分機能していると考えているのか。 現状認識と課題について具体的に伺う。	教育長
		(2)　市内小中学校において、特別な支援を要する児童生徒や、いわゆる「気になる子」への対応により、学級運営や授業進行に支障が出ている事例、および教職員が疲弊している実態をどのように認識しているのか伺う。	教育長
		(3)　令和8年度予算に、校内教育支援センター支援員、医療的ケア対応看護師やスクールソーシャルワーカーなど、それぞれ重要な役割を担っている専門職が配置されている。学校作業療法士の専門性と既存支援体制との役割の違いについて、どのように認識しているのか伺う。	教育長
		(4)　発達特性に応じた児童生徒への早期支援体制について、 ①学校作業療法士が継続的に関わる体制調査・研究を行う考えはないのか。 ②巡回型支援やモデル校設置など段階的導入を検討する余地はないのか。 ③実際に学校現場から専門的助言を求める声は上がっているのか。 具体的な見解を伺う。	教育長
		(5)　子どもたちの小さな「できた」を地域全体で支えていくことこそ、将来の黒部市を支える人材育成につながる投資であると考える。先進事例に学びながら、本市の実情にふさわしい持続可能な教育環境を守るために、どのような仕組みづくりを目指していくのか所見を伺う。	教育長
		2　学校体育館空調設備と災害対応力について	
		(1)　3月補正で移動式エアコンおよび移動式蓄電池の購入費が計上されている。現在および補正後の移動式エアコンの総台数、それらは常設保管か、各施設分散配置か、その配置計画について伺う。	防災危機管理統括監
		(2)　移動式エアコン導入をもって本市として学校体育館空調設備は当面完結したと考えるのか伺う。	教育部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	大辻菊美 (一括方式)	２　学校体育館空調設備と災害対応力について	
		(3)　大規模災害が発生した場合、複数の避難所が同時に開設される可能性がある。移動式エアコンは何か所の避難所に同時対応できる想定なのか。また、対応能力は十分と判断しているのか。不足する場合は何台不足するのか伺う。	防災危機管理統括監
		(4)　移動式エアコンは災害時には機動力が利点であるが、設置準備に時間を要すること、冷却範囲が限定的であること、常時使用には電源容量の課題があることなどの制約もある。 ①設置・稼働までに要する時間はどの程度か。 ②冷却範囲は体育館全体か、限定エリアか。 ③体育館に設置されている既存電源設備の契約容量および電盤容量は十分なのか。 ④複数台を同時稼働させた場合、ブレーカー遮断等のリスクはないのか。 ⑤各体育館ごと同時使用可能台数を把握しているのか。 ⑥停電時、蓄電池で何時間稼働できる想定か。 夜間を含めた長時間停電に対する運用計画はあるのか伺う。	防災危機管理統括監
		(5)　学校体育館の空調設備の整備について国の補助制度や有利な起債措置を活用し、段階的に整備を進める可能性についてどのように考えているのか。また、現在活用可能な制度を前提に試算を行ったことはあるのか。具体的な概算整備費と市負担見込額を伺います。	教育長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	野村康幸 (一括方式)	**1　市長のパワーハラスメント報道について**	
		(1)　『市を良くしたいという正当な理由』があれば、大声を出す、物を投げるといった威圧的な態様も『許容範囲内』と考えているのか。また、具体的に、どのような態様が『適正な範囲を超えた』と自覚しているのか、市長自身の『パワハラの境界線』について伺う。	市長
		(2)　55%がパワハラを感じているというデータを『個人の受け取り方の問題』として片付けるのか、それとも組織トップとしての『マネジメント能力の欠如』と認めるのか伺う。また、当事者である市長は「第三者委員会」の設置を「今は考えていない」としているが、第三者委員会の設置を拒む合理的理由について伺う。	市長
		(3)　市長は第三者委員会の設置について「今は考えていない」としているが、事務方として、客観的な調査のために第三者委員会の設置を具申する考えはないか見解を伺う。	総務管理部長
		(4)　「管理職の55％がパワハラを受けた」とあるが、「怒鳴られた」「激高された」や以前のように「ペットボトルを投げた」以外に精神的苦痛を与えるような執拗な叱責や、業務の範囲を超えた強要などはなかったのかを伺う。 また、昨年夏にも「口頭で改善を求めた」とあるが、それ以降に、職員からパワーハラスメントにあたる行為の相談があったとすれば、なぜ再発を防ぐことが出来なかったのか根本的原因分析について伺う。	総務管理部長
		2　宇奈月温泉スキー場について	
		(1)　本市宇奈月温泉スキー場のペアリフトにおいて、目視や定型点検では察知できない『金属疲労』や『絶縁劣化』による突発的事故のリスクの認識について伺う。	産業振興部長
		(2)　法令はあくまで最低基準であり、メーカーの設計寿命を10年以上超過した機械に対し、本市独自の『特別安全基準』や、異常を事前に察知する『常時監視システム』を導入する考えについて伺う。	産業振興部長
		(3)　2026年度当初予算に「宇奈月温泉スキー場事業費」が計上されているが、これは令和8年度までのいわゆる「猶予期間」を全うするための現状維持予算なのか、それとも今後10年、20年と永続的にスキー場を維持発展させるという意味合いなのか、その真意について伺う。	産業振興部長
		(4)　設置から40年以上経過した本市スキー場のリフトに対し、今予算で計上されている費用だけで、乗車客の安全をどのように担保するのか、併せて、突発的事故を防ぐための特別点検や部品の先行交換は費用計上の中に盛り込まれているのか伺う。	産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	野村康幸 (一括方式)	**２　宇奈月温泉スキー場について**	
		(5)　スキー場運営について、通年利用化におけるサウンディング市場調査の進捗状況について伺う。	産業振興部長
		(6)　本スキー場は「富山県のリフト発祥の地」という歴史的価値がある。広域観光の拠点として、国や県の補助金、あるいは都市公園化などへの転換等、財政負担を軽減しながら存続させる今後の戦略について伺う。	産業振興部長
		(7)　温泉街との物理的・経済的連携をすることで、街全体で収益を上げる仕組み作りを構築すべきと考えますが見解を伺います。	産業振興部長
		３　観光施策について	
		(1)　観光振興計画では「主要施設の売上目標10億円」を掲げているが、観光の恩恵を観光業者だけでなく、農林水産業や小売業を営む市民が実感できる「経済循環の仕組み」を次期計画でどう具体化するのか伺う 。	産業振興部長
		(2)　観光振興計画では地域ガイドの養成を掲げているが、現在、本市においてガイド業で生計を立て、あるいは副業として成立している事例があるのか、また次期計画に向けて、高い付加価値に見合った収益が得られるよう、市として支援を行うべきと考えるが見解を伺う。	産業振興部長
		(3)　現在、山、川、丘、海それぞれの拠点でWi-Fiやコワーキングスペースの整備はどの程度完了しているのか、また、空き家等を活用した中長期滞在施設の整備を加速させ、次期計画の柱に据えるべきと考えるが見解を伺う。	産業振興部長
		(4)　2024年4月からの「改正障害者差別解消法」施行により、民間事業者にも合理的配慮が義務化された。高齢者や障害者が「黒部なら安心して歩ける」と思える環境の整備を加速させるべきと考えるが見解を伺う。	市民福祉部長
		(5)　黒部市の強みは電源開発の歴史や水力発電といった「クリーンエネルギー」との共生にあり、SDGsへの関心が高まる中、他自治体には真似できない強力な武器である。「学びの場としての黒部」を世界に発信する戦略が必要だと考えるが見解を伺う。	産業振興部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	松倉孝暁 (一問一答方式)	**1　令和８年度予算編成上の課題について**	
		(1)　歳入において一般財源は8.3億円の増額を見込む。一方歳出では昨年対比0.3%の増加に留まる。人件費の高騰などインフレ化における予算編成において事実上の減額予算と考える。マイナスシーリングを行った結果の予算編成ではあるが少し保守的すぎないかと思うが、所見を伺う。	総務管理部長
		(2)　例えば会計年度任用職員の労働時間を短縮したことなど人件費を抑制したことは市民への行政サービスの低下を懸念する。市役所の人員配置の現状から果たして人件費抑制は適切なのか伺う。	総務管理部長
		(3)　防災費の中でトイレに関しては災害用トイレ購入費に400万円を計上した。災害備蓄品に関し着地点としての規模と時期を明確に示してほしい。TトイレKキッチンBベットに関して国のガイドラインを満たしていくことはもちろんですが、国際基準であるスフィア基準を目指していくべきと考えますが所見を伺う。	防災危機管理統括監
		(4)　国土交通省は人口減少地域の下水道を廃止し、各家庭の浄化槽による個別処理に転換できるようにする下水道法の改正案を提出するとのことである。国の考える人口減少地域とは具体的にはどこを指すのかなど改正案がまだ不明瞭であるがこの下水道法改正案が市の下水道行政にどのような影響を与えるのか伺う。	都市創造部長
		2　新川医療圏の中核病院　黒部市民病院について	
		(1)　令和7年度収支決算見込みについて伺う。	市民病院事務局長
		(2)　令和8年度実施の診療報酬改定により、黒部市民病院の収支にどの程度の改善が見込まれるのか伺う。	市民病院事務局長
		(3)　経営改善指標が同規模病院の中で上位15%以内に入っていると以前に答弁いただいた。これまでの総括と今後の取り組みなどを伺う。	市民病院事務局長
		(4)　人口減少社会への対応に新川医療圏内での医療連携は大きなテーマと考える。医療機器・薬剤の共同購入、ドクターの人的交流、病院の機能分担など地域医療連携推進法人のあり方から学ぶべき点もあるのではないかと考えるが所見を伺う。	病院長
		(5)　令和8年度人間ドックのコースとして新たに『膵がんドック』を導入された。ドクターの意見としてどのような方がより発がん確率が高いのか、どのような方に膵がんドックの受診を推奨されるのか伺う。	病院長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	松倉孝暁 (一問一答方式)	３　人生100年時代における国民年金について (1)　基礎年金(国民年金)を40年満額納付すると年80万円程度の支給額になる。人生100年時代における第1号保険者が備えるべきことについて伺う。 (2)　市内第1号保険者2657名の内、付加保険料被保険者数は171名とのことである。この割合から判断すると制度を知らないでいるか一度聞いたが忘れておられる方が多数ではないかと考える。対象者に改めて周知する必要があるのではないかと思うが所見を伺う。	市民福祉部長 市民福祉部長
		４　富山地方鉄道㈱について (1)　現在検討している利便性向上策について伺う。 (2)　同じく自治体の補助を受けているあいの風とやま鉄道(株)と富山地方鉄道(株)と運賃設定が違うのは課題の一つと考えるが所見を伺う。 例えば以前とくらべると桜井高校生が東三日市駅を使わずにあいの風とやま鉄道黒部駅に降りる学生が多いのは運賃が高いからではないか。 (3)　逆に旅行者からはもう少し負担をお願いしてもよいのではないか所見を伺う。 市民割引の導入で実質的な2重価格を設定できるのではないか。 (4)　富山地方鉄道本線維持のため一般会計からの補助も一つだが特定財源を作るべきと考える。 クラウドファンディングやふるさと納税など積極的な行動を期待したい。入湯税の増額や宿泊税を導入し、観光インフラ維持のための一つの手段とするのもアイデアだと考えるが所見を伺う。	都市創造部長 都市創造部長 都市創造部長 市　　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	長谷川　恵　二 (一括方式)	**1　会計年度任用職員の位置づけとその待遇改善に向けて**	
		(1)　当市での会計年度任用職員の現状、とりわけ年度ごとの採用、解職の数について教えていただきたい。その中で継続雇用の人数は何人か。	総務管理部長
		(2)　フルタイム任用職員の平均給与と正職員との比較を、金額・比率ともに示してください。格差は大きいと思われるが改善の意欲についても伺いたい。	総務管理部長
		(3)　公募の在り方・採用・解職にあたっての基準と継続雇用する際の基準について確認したい。また、雇用契約書等は毎年きちんと本人に書面交付されているのか。	総務管理部長
		(4)　正職員も同様だと思うが、残業申請と記録の在り方について確認したい。例えば、窓口に閉庁5分ほど前に来られた、電話がかかってきて30分ほどかかった場合にはどういう扱いになるのか。	総務管理部長
		(5)　本庁内の窓口・電話対応について、クレームになっている場合に誰がどう対応するのか手順を確認したい。窓口に近いなど特定の人間に負担がかかっていないか非常に心配する。 ストレスチェックではこういうものが測れるのか。	総務管理部長
		(6)　また、窓口に限らずいわゆるクレーム対応について確認したい。令和6年の6月議会で、カスハラ対応の条例制定について辻泰久議員の質問に答えられているが、その後どうなっているのか。	総務管理部長
		(7)　最後に確認しておきたいが、会計年度任用職員が次期の自分の採用・不採用について外部に相談することは法令違反となるのか。	総務管理部長
		2　給食費の完全無償化に向けて	
		(1)　幼稚園・中学校の給食費無償化のための予算はどれほど必要なのか。	教育部長
		(2)　小学校給食費の無償化でいくらかでも市の負担は軽くなるのか。	教育部長
		(3)　今、昨年の東京都下はじめ全国で小中学校給食費完全無償化の波が起きています。富山県でも射水市や氷見市、入善町と次々と予算計上が発表されています。なぜ黒部市はこの波に乗れないのか。小中学校給食費を完全無償化した自治体に比べそんなに財政窮迫の自治体なのか心配になってくるが、確認させてください。	市　　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	長谷川　恵　二 (一括方式)	**２　給食費の完全無償化に向けて** (4)　過去の質問では、市長答弁で「給食費については、財源の問題としてではなく保護者にも一部負担していただくべきもの」と3度以上信念のごとく答弁されています。国により小学校給食費が無償化されようとしている昨今、お気持ちに変わりはないですか。 (5)　小学校給食費無償化はまことに結構な話ではありますが、心配なことも少々あります。他県の話ではありますが、給食の質・量的にちゃんと今以上の水準を確保できるのかという点です。物価高騰が続く中では国の措置額が今以上に足らなくなってくる場合も十分に考えられるので、水準確保への固い決意表明をお願いしたい。	市　長 市　長
		３　国民健康保険税の負担軽減に向けて (1)　富山県が公表した2026年度標準保険料率表によると、2025年度に引き続き大幅な引上げになっている。この算定結果通りに引上げると、黒部市では4人世帯で73,800円の引上げとなるそうだが、どうなさるつもりか。 (2)　予算書の1世帯当たり調定額で見ると昨年の合計161,536円から179,406円へと上がっているが、上がった理由はこども子育て支援金以外で何かあるか。 (3)　何回も指摘しているが、国保税の負担の重さは異常であり、またその構造も不合理である。私たちの運動と国民の悲鳴が少しは聞こえたのか、R4年度から未就学児の5割軽減が始まった。それの18歳までの拡大も検討され始めた。これを先取りする考えはないか。 (4)　負担の重さと物価高騰を主因として、滞納する人たちが減っていかない。現状をどう考えているか。 (5)　なかなか連絡に応じないなど、その徴収の困難さは理解しているが、その多くは生活困窮者です。生活再建を主とした経営相談や福祉相談へとつなげられないのか。	市民福祉部長 総務管理部長 市民福祉部長 総務管理部長 総務管理部長
		４　各種市政問題について (1)　第一生地踏切の安全策を提案していきたい。生地中新線の歩道整備もめどがつき、踏切拡張への話し合いも始まるようだが、時間がかかりすぎる。踏切拡張までの間、踏切より西側部分だけでも、時限的な車両通行止めや東方面への一方通行にするよう関係機関と協議していただけないか。以前に検討されているのならその経過も知りたい。	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	長谷川　恵　二 (一括方式)	**４　各種市政問題について** (2)　扇状地上に存在する黒部市にとって、小水力発電で毎年一億円近い繰入れを実現していることはまことに素晴らしいこと。 さらに、マイクロ水力発電の活用可能性について、市内企業とも継続的に論議しあえるようにしてはどうか。	産業振興部長
		(3)　下水道におけるバイオマス発電の効率アップへ向け、コーヒー滓の収集や、生ごみのディスポーザー普及へホームページ・Lineによる文章告知だけでなく、効果的な動画投稿なども考えていくべきではないか。	都市創造部長
		(4)　先月黒部川土砂管理協議会が開かれている。私の読み違いなら申し訳ないが、宇奈月ダム先行操作についての記述がない。 なされなかったのならその理由を知りたい。また今後の計画に含まれるのか。	市　　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	辻　泰久 (一問一答方式)	**1　選挙の投票率向上にむけて**	
		(1)　本市の2026年2月８日執行衆議院議員総選挙の投票率は前回を下回りました。投票率向上のため商業施設や桜井高校での期日前投票を実施できないか伺います。	選挙管理委員長
		(2)　南砺市ではバスによる移動投票所が活躍したと報道されました。本市でもバスによる移動投票所を導入することを検討してみればと思うが見解を求めます。	選挙管理委員長
		(3)　実家を離れて都会に住む学生などの投票率が低いといわれています。そろそろインターネットでの投票も考えれば若者の投票率も向上すると思いますが所見を伺います。	選挙管理委員長
		(4)　郵便などによる不在者投票（郵便投票）は物理的に投票所に行くことが困難な者が対象とされているが、免許証返納者などが増えており対象者の拡大を考えられないか伺います。	選挙管理委員長
		(5)　わが国では候補者名を投票用紙に自ら記入する自書式が採用されていますが、投票用紙に予め候補者名を印刷し、投票したい候補者に丸などの印をつけて投票する記号式投票制度の採用も検討してはどうかと思いますが、所見を伺います。	選挙管理委員長
		2　林野火災について	
		(1)　防火意識を高めるために本市はどのような対処をしているのか伺います。	防災危機管理統括監
		(2)　林野火災の9割が人的要因だそうです。これらのことを周知するためにどの様な広報をしているのか伺います。	防災危機管理統括監
		(3)　以前林野火災に対応するため、東布施消防分団に、山火事に対応するため定員を他の分団よりも多く配属されていたと思いますが、現在の体制を伺います。	防災危機管理統括監
		(4)　消防庁は、林野火災注意報、警報の活用を推進しており、この注意情報の運用を始める自治体が増えているとのことです。本市での対応を伺います。	防災危機管理統括監
		3　北方領土問題について	
		(1)　ロシア政府の「両国間の平和条例に関する対話は途絶えており、関係はゼロの状態である」という見解に対してどのように思うか市長の見解を求めます。	市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	辻　泰久 (一問一答方式)	**３　北方領土問題について** (2)　北方領土返還要求キャラバン隊は最後の訪問をしてくれました。先の議会で質問いたしました市内中学生へ北方領土問題をテーマにした北方領土漫才が本市で公演されるとのことであるが詳細を伺います。 (3)　北方住宅のジオラマやバス停看板などが富山県北方領土史料室に常設展示されているとのことですが詳細を伺います。 (4)　ブラウンバッジを県議会議員や国会議員にもつけてもらえるよう運動しなければいけないと思うが見解を求めます。	総務管理部長 総務管理部長 総務管理部長
		４　黒部市発注工事の入札不調・不落について (1)　本市の発注工事における入札不調･不落発生率はどれくらいか伺います。また、件数が何件あるか伺います。 (2)　どのようなことが原因と考えられるか。 (3)　県は2月から不調･不落対策として受注者が希望する着工時期の資材価格に合わせ契約内容を変更できるようにしたとのことです。本市はどのように対処するのか伺います。 (4)　南砺市では公共建築物解体を促進するためにマイナス入札制度を導入すると発表しました。本市でもこのような制度を導入する考えがないか伺います。	総務管理部長 総務管理部長 総務管理部長 総務管理部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	木島信秋 (一括方式)	**1　黒部市民病院の現状と今後の方向性について**	
		(1)　医師不足と診療体制について 偏在化により医師不足が深刻化している中において、医師の確保に向けた大学との連携強化について、具体的にどのような協議や取組を進めているのか伺う。	市民病院事務局長
		(2)　救急医療体制の維持について 市民が最も懸念する救急医療体制の課題をどう認識しているか。また、安定的な受入れを維持するための具体的な対応策について伺う。	市民病院事務局長
		(3)　経営状況の改善と具体的な見通しについて 病床稼働率の改善や外来機能の見直しなど経営改善策について、いつまでにどの程度の数値目標を達成する計画なのか、スケジュールと共に伺う。	市民病院事務局長
		(4)　地域医療構想における役割の再定義について 地域医療構想の中で市民病院が果たすべき役割をどのように再定義しているのか。また、近隣医療機関との機能分担を含め、その役割を実現するための具体的な体制整備について伺う。	市民病院事務局長
		(5)　市民への説明責任について 市民病院の現状と今後の方針について、広く情報を発信していく必要があると考えるが、今後どのような手段を用いてどの程度の頻度で丁寧な説明を強化していくのか伺う。	市民病院事務局長
		2　あいの風とやま鉄道、生地駅及び周辺活性化事業について	
		(1)　生地駅の現状認識について 乗降客数の推移や利用実態（通勤・通学・観光など）をどのように把握しているのか伺うとともに、無人駅化による影響や課題について、市としてどのように認識しているのか伺う。	都市創造部長
		(2)　生地駅の移転について 新駅設置にはどれくらいの年数がかかるのか。また、想定される概算費用、市が負担すべき費用について伺う。	都市創造部長
		(3)　生地駅周辺の課題整理について 生地駅周辺の交通環境、観光導線、空き家・空き店舗の状況などの複合的な課題をどのように整理し、どのような優先順位で取り組む考えなのか伺う。	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	木島信秋 (一括方式)	**2　あいの風とやま鉄道、生地駅及び周辺活性化事業について** (4)　市の基本方針について あいの風とやま鉄道(株)との協議状況や駅舎移転などの検討はどこまで進んでいるのか。また、生地駅を今後どのような位置づけで整備していくのか、市の基本方針を伺う。 (5)　今後の計画と具体的な取組について 地域住民の声や地元企業の意見をどのように計画に反映しているのか。また、生地駅の整備に合わせ、清水めぐりや漁港など、生地の魅力とつながる観光ルートの整備や地域内交通の確保、及びにぎわい創出拠点の形成に向けた具体的な取組について伺う。	都市創造部長 市　長
		3　公共交通バスルートの延伸について (1)　公共交通の諸課題がもたらす公共交通網への影響と利便性向上について 運行事業者の運転手不足や燃料費高騰など、運行継続や延伸に影響する諸課題について、住民の移動にどのような影響を及ぼしていると分析しているのか伺う。 (2)　今後の公共交通の方向性について 人口減少、高齢化を見据え、持続可能な公共交通ネットワークの維持や再編について、中長期的な方向性、及び改善に向けた具体策やその進め方について伺う。	都市創造部長 市　長
		4　村椿保育所の老朽化対策と今後の整備方針について (1)　村椿保育所における老朽化の現状認識について 現在の施設の現状について、耐震性を含め本施設が抱える構造的なリスクをどのように分析されているのか。また、本施設の寿命を現時点でどう捉えているのか伺う。 (2)　建替え、改修の検討過程について これまでの検討過程、及びそれぞれの案に対する諸課題について伺う。 (3)　公共施設更新における優先順位の考え方について 本市には数々の公共施設があるが、他施設との更新時期の重なりや財政状況との調整が必要と考える。しかし、本施設は子育て支援の最前線であり、安全性が最優先されるべき施設だと考えるが、どのような優先順位に位置づけられているのか伺う。 (4)　今後のスケジュールと住民説明について 住民からは「いつ決まるのか」「どのように説明されるのか」という不安の声が上がっており、丁寧な説明と合意形成は不可欠なものと考える。そこで、市として令和8年度中に方向性を決定し、市民に示す考えがあるのか、スケジュールを含めて伺う。	市民福祉部長 市民福祉部長 総務管理部長 市　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	家敷誠貴 (一問一答方式)	**1　持続可能な農業支援と黒部米の魅力向上について**	
		(1)　本市における耕作放棄地の地域別、年度別の状況を伺う。	産業振興部長
		(2)　中山間地域での稲作は、鳥獣被害や急峻な地形により、平地以上の労力とコストがかかる。現在、国・県の「中山間地域等直接支払制度」が運用されているが、対象となる条件、地域について伺う。	産業振興部長
		(3)　中山間地域での「耕作放棄地の再生」や「多面的機能の維持」に対し、「中山間地域等直接支払制度」の条件緩和を行い、現在の交付金に加えて市独自の加算措置を講じる考えはないか伺う。	産業振興部長
		(4)　黒部米の魅力向上について、現在の取り組みを伺う。	産業振興部長
		(5)　黒部米には、中山間地や、黒部の名水の優れたイメージ以外にも、昭和26年～35年に実施された「流水客土」という大規模事業の歴史もある。今までのブランド価値に加え、パッケージデザイン等、その歴史も含めて販売してはと考えるが見解を伺う。	産業振興部長
		2　電動ミニバスについて	
		(1)　電動ミニバスについて、地域の住民からは運行を歓迎する声がある一方で、運行ダイヤや目的地について利用しづらい等の意見があるが、意見や要望の把握はどのように行い、どのように運行計画に取り入れているのか現状を伺う。	都市創造部長
		(2)　利用の促進を図り、運行のタイミングを知らせるため、各施設での出発時間や方面のアナウンスを提案するが見解を伺う。	都市創造部長
		(3)　電動ミニバスの利用に、市が補助しているふれあい福祉券を利用出来る事を知らない方が多いように思う。再度周知してはと考えるが見解を伺う。	市民福祉部長
		(4)　市民により愛され、利用されるよう、昨年に続き様々なイベント等でPRする事も重要だと考えるが今後の予定等を伺う。	都市創造部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	家敷誠貴 (一問一答方式)	３　地域おこし協力隊について (1)　現在、地域おこし協力隊として活動していただいている3名は、採用の時期が近いため、スムーズな引継ぎ等を考えると、継続的な採用が必要だと考えるが、今後の採用計画について伺う。 (2)　市内全域、様々なテーマで活動し、より地域の方に愛されるためには隊員数を増やす必要があると考えるが、再度見解を伺う。	総務管理部長 総務管理部長
		４　給食費の無償化について (1)　令和8年度から、国の「給食費負担軽減交付金」を活用し、市独自の上乗せ支援を行うことで、小学校給食の完全無償化（予算額：1億2,686万2千円）が新たに実施されるが、その詳細や、対象を小学校のみとした理由について伺う。 (2)　中学校や幼稚園については、依然として「高騰分の公費負担」に留まっているが、今後の見通しや国の交付金を待たずに完全無償化を目指す考えがあるか伺う。	教育部長 市　　長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
11	中野得雄 (一問一答方式)	1　当市に於いての運転免許証自主返納支援に係る諸課題について	
		(1)　当市に於いてR5年度からR7年度現在の65歳以上運転免許証自主返納率はどのように推移しているのか伺う。また、所謂中山間地区での自主返納率について現状を併せて伺う。	市民福祉部長
		(2)　運転免許証自主返納支援事業の現状について伺う。	市民福祉部長
		(3)　運転免許証自主返納支援額が2万円から1万5千円に減額された理由について伺う。	市民福祉部長
		(4)　運転免許証自主返納支援事業の中で、県内で唯一無期限の市内路線バスフリーパスの利用状況と今後の財政負担について伺う。	市民福祉部長
		(5)　運転免許証自主返納支援の1万5千円分の支援を、住居地域に応じたメリハリのある事業内容に出来ないか伺う。	市民福祉部長
		(6)　免許返納者が増えることによる、デマンド交通の更なる拡充及び今後の施策について伺う。	都市創造部長
		(7)　ライドシェア導入についての当市の考えを伺う。	都市創造部長
		(8)　中心部での交通インフラについては取り組んでおられるが、過疎化していく山間地区の対策について市長はどのような思いを持ち、どのような施策を行っていくのかを伺う。	市　長

〇一括方式とは
　議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

〇一問一答方式とは
　議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式